

メーカー機能を内包した老舗 商社として時代の要求を捉えて ビジネス領域を広げ大阪発の グローバル企業力を発揮する

山一株式会社 代表取締役社長

殿谷 茂人氏 / Sigeto Tonoya

1901年に綿花商として創業した山一は、常に時代の要求を敏感に捉えながら事業を発展させてきました。環境に配慮したリサイクル事業にいち早く取り組み、競合他社に先駆けて中国進出とアジアにおけるネットワークを構築。大阪の老舗商社として繊維事業と合成樹脂事業を確立させています。さらに商社でありながらメーカー機能を内包し、その強みを最大限に活かしながら、ビジネス領域を広げています。

繊維事業部 生活製品・資材部では、寝装寝具（ふとん）を製造。古い寝具を、ふとんの再加工やリサイクル原料にしており、ロスのない布団循環システムをご提案しています。一方、繊維事業部ライフスタイル部では、高品質なリネン製品を提供。ホテルの現場の負担軽減を考えたオリジナル商品の開発も進めています。特に、リネン製品では全国的に人手不足が深刻化しているホテル業界において、ベッドメイクの作業負担を大幅に改善することを目指して開発した「Mシーツ」は、2名のスタッフで4分かかっていたオペレーションを、1名で1分30秒に削減できる画期的な省力化・省人化対応アイテムとして認知され、全国のホテルで採用が広がっています。

Mシーツの大きな特徴はその形状にあります。一般的にホテルのシーツはフラット型が主流ですが、Mシーツはヘッドボード側の縁辺が袋状になっていることから、ベッドの縁に簡単にシーツをかけることができる

のです。また、シーツの角を縫い合わせて折り返したシンプルな構造でありながら、スピーディーで美しい仕上がりを実現します。

Mシーツをかける際にベッドのヘッドボード部分のマットレスを持ち上げる必要がないことから、ベッドメイクをするスタッフの足腰への負担が軽減され、女性や高齢者の方々でも楽にオペレーションができます。

中国・山東省の縫製工場で、独自の品質基準に基づいて生産していることを背景に、クオリティーの高さについても好評価をいただいています。

SDGsに対する社会的な関心が高まっている近年、企業の環境保全活動や環境配慮型製品にスポットが当てられる機会が増えました。以前より弊社では、ペットボトルやPET 廃材を原料として、山一 YPS(再生ポリエステル)を生産しております。同じ敷地内に不織布工場もあり、自社再生原料を使用したエコポリエステル不織布も製造しております。また、SDGsの社会的潮流を受けて、山一の合成樹脂事業部では、2015年からスターバックス コーヒー ジャパン(株)から抽出後に出るコーヒー豆かすを樹脂に練り込んだ、サステナブル素材の店舗用トレーの製造を受注し、主要店舗で利用いただいています。特に、最近の傾向としては、ユニホームをリサイクルして再び繊維製品で戻すことや、特にホテル関係では、歯ブラシやヘアブラシのリサイクル商品の開発のご相談を多く受けております。



(一社) ALLIANCE FOR THE BLUE が推進している、海洋保全と経済性を両立する持続可能な社会の実現に向けた取り組みにも参画。その活動の一環として、海洋プラスチックごみの削減を目的にしたポリエステル漁網のリサイクルに協働しています。

商社とメーカー、それぞれの強みを活かして、あらゆる商材を国内外から調達。ビジネスマッチングのプロフェッショナル、マーケットを知り尽くしたビジネスプランナーとして、材料の選定や付加価値商品の開発・生産から、品質管理、市場開拓、販売、さらにリサイクルまでを一貫して提案することで、時代が求める効率化とスピードに高品質に対応していくことが山一のビジネスビジョンです。これからもグローバル企業としての力をさらに発揮していきます。

20世紀の幕開けと同時にスタートを切った山一は120周年を1つの通過点として、創業の精神に立ち返りながら、次の輝ける未来に向かって新しい一歩を踏み出していきます。さらに150周年、200周年と栄えある歴史を重ねていけるように、これまで信用を築いてくれた先人たちのチャレンジ精神と地道な努力を受け継ぎ、社員1人ひとりの高い志と果敢な行動力で「誇れる会社」というアイデンティティを盤石なものにして、次世代に引き継いでいきたいと思ひます。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4番11号 金鳥土佐堀ビル5階
<https://yamaichi-web.jp/>